

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	武蔵野学院大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ムサシノガクインダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F111310101987
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	埼玉県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	国際コミュニケーション学部
	担当教職員名・役職	森祐介 職員・兼任講師
	受講者数実績年度	令和5年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	71
	受入企業等数	6
	受入企業等名	イリハイ、炭火焼あぶりや本店、Cafe THEME、三丁目の手打うどん、なんつかベーカリー、パスタ・デルフィーノ
	産学協議会の整理上の類型	3.タイプ3(汎用的能力活用型インターンシップ)
キャリア形成支援活動の分類		1.長期(概ね1か月以上)のキャリア形成支援活動
		6.低学年(大学1年次～2年次程度)を対象としたキャリア形成支援活動
		7.高学年(大学3年次～4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		地域企業が抱える課題を学生がグループで解決する活動を通して学びを深めるPBL(Project-based Learning)型の授業である。大学-企業間の連携だけでなく、狭山市役所及びSaya-biz(行政)にも協力いただき、産学官連携としてプロジェクトを実施している。行政には、テーマ選定の協議や、企業紹介、中間・最終報告会でのフィードバック、市のHPやSNSでの広報等で協力いただいている。業種やテーマは毎年異なるが、令和5年度は、近隣の6つの飲食店と連携し、学生が新商品を企画開発、販売した。
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	地域企業が抱える課題を解決するプロジェクトに学生がグループで取り組む内容である。企画案をプレゼンするだけでなく、実際に新商品を開発し、販売までを一貫して行う。
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	5.当該キャリア形成支援活動は、選択必修科目として実施している 7.当該キャリア形成支援活動は、授業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部2年 大学 学部3年 大学 学部4年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	学部の2～4年生の混合クラスであり、プロジェクトに取り組む各チームも学年混合の構成である。2年生は早期から職業観等を養うこと、また上級生は下級生に対してリーダーシップやマネジメント能力を発揮する機会を提供することを狙いとされている。

項目	確認事項	届出内容
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	学生が記載する各シートや授業アンケートに加え、授業時間中に全チームにプロジェクトの進捗状況を確認している。また、各企業担当者にも学生とのやりとりやプロジェクトの進捗状況について適宜ヒアリングし、双方向からプロジェクトの状況をモニタリングしている。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	企業訪問時にスムーズな話し合いができるよう、プロジェクトシートに企業概要や質問事項をまとめ、プロジェクトスケジュールを立てる等の事前学習を実施している。また、企業にメール送信する際などは、送信前に適宜内容を指導している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	授業の終盤に、各企業担当者を大学にお招きし、最終報告会として学生からプロジェクトについてのプレゼンテーションを行い、企業から講評、フィードバックをいただいている。また、経験学習の観点から、内省を重要視し、授業最終回に深いリフレクションを実施している。グループ内でピアレビューを行い、お互いの貢献度や「誰のどんな行動がグループにどのような影響を与えたのか」をフィードバックし合い、経験から多くの学びを受け取れる設計としている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	毎週の授業でグループの活動内容を「議事録」に、プロジェクトの進捗を「プロジェクトシート」に記載させ、随時Web上で確認している。また、自由記述のアンケートも毎授業後に実施し、それらを見ながらグループの関係性やプロジェクトの進捗状況の把握に努めている。加えて、授業中に全グループを巡回し、状況等をヒアリングすることでモニタリングを実施している。
要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 3.キャリア形成支援活動による到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	学習目標である「社会人基礎力」「ICTスキル」「キャリア観」をルーブリックを用いて5段階に分け、授業前後の変化を定量的に把握できるようにしている。またそれらについてどのような変化があったかを自由記述させ、定性的にも学習効果を把握できるようにしている。

項目	確認事項	届出内容
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	4.その他
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	2023年前期(4月～7月)の全15回の授業(90分)で実施した。
5-3.上記回答内容に関する詳細	毎週火曜日の全15回の授業(90分)の中で実施した。そのうち、第3回の授業で初の企業訪問を行い、その後も複数回(5回以上)企業訪問するようなスケジュール設計となっている。初回訪問日程のみ、教員側で日程調整を予め行った上で授業を進めたが、それ以降については、学生と企業のLINEグループで学生が直接企業と訪問日程の相談をする形とした。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 6.企業と協働して、PDCAを実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	授業開始前の協力企業を選定する段階においては、授業の全体像や教育目標について説明した上で、学生の育成のための指導についても積極的な関わりを約束していただいた企業と包括連携協定を締結し、協力を依頼した。また、プロジェクトテーマについては、授業開始前に各企業、行政と協議の上で決定している。授業後には、行政、企業と共に振り返りを行い、改善点を洗い出し、次年度に向けてPDCAを回している。
7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="https://portal-k.musashino.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusSansho/UI/WSL_SyllabusSansho.aspx?PI=02101860&amp;P2=2023&amp;P3=20230401">https://portal-k.musashino.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusSansho/UI/WSL_SyllabusSansho.aspx?PI=02101860&amp;P2=2023&amp;P3=20230401</a>	
問い合わせ先	大学等名	武蔵野学院大学
	担当部署名	事務局
	担当者役職名	事務職・兼任講師
	担当者氏名	森 祐介
	電話番号	04-2954-6131
メールアドレス	<a href="mailto:yusuke.mori@u.musa.ac.jp">yusuke.mori@u.musa.ac.jp</a>	